

－南池袋小学校（平成18年10月20日）の視察を踏まえて－

- ・ 南池袋小は、オープンスペースと廊下が事実上兼用になっていた。そのことが騒がしくなっている原因ではないか。  
以前見学した杉並第十小は、中央に廊下があり、枝分かれのように教室が配置されていた。基本的に片方が行き止まりになっていた方が静かになるのではないか。
- ・ 南池袋小を視察して、音を吸収することが大事だと感じた。音が反射する場所に吸音材を付けることが大切だということが、以前の建設部会の際にあったが、そのとおりである。
- ・ 南池袋小は、音の響きを非常に感じた。構造の工夫により、吸音等は可能だと思う。
- ・ 杉並第十小は、パネルを用いて個々の教室をクローズにすることができたが、南池袋小はそのようではなかった。特に一年生のことを考えると、クローズできる方が良いのではないかと考える。
- ・ 南池袋小を視察して、旧校の記念品の保管は、時間が経つと難しくなると思う。スペースの確保も大事だが、校舎の端に記念碑を建てた方がずっと長く、確実に残るのではないか。
- ・ 南池袋小には、各階に車椅子トイレがある。ユニバーサルデザインを進めていくことは大切だと思うので、是非参考にしたい。
- ・ 南池袋小を視察して、太陽光発電による電力を蓄電できるのか、そのことに非常に興味を持った。
- ・ 南池袋小のようにランチルームを設ければ、同じ学年、異学年がいっしょに食事をして交流することができ、多目的室としても利用できる。
- ・ （予算措置制度のこととして）新校舎竣工後も手直しが必要な箇所が発生する。その際、すぐに直せるような制度、予算措置が必要だと南池袋小を視察して感じた。